

研究課題名	胆膵内視鏡診療と化学療法の安全性と有効性についての検討
研究の意義・目的	胆道癌や膵癌では悪性胆管狭窄に伴う閉塞性黄疸、急性胆管炎をきたし、内視鏡的ドレナージ術が必要になることが多いです。胆膵癌における内視鏡ドレナージ術の有無による化学療法への影響を検討した文献報告は少なく、実臨床における安全性と有効性を検討することを本研究の目的とします。
研究を行う期間	機関の長の実施の許可日 ~ 2028年3月
研究協力を お願いしたい方 (対象者)	2015年4月~2023年12月に大阪公立大学医学部附属病院の消化器内科へ、胆道癌または膵癌のため受診された方が対象となります。
協力をお願いしたい 内容と研究に使わせ ていただく試料・情 報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。  診療情報：【病歴、診断名、年齢、性別、既往歴、検査データ、CT画像、自覚症状】
試料・情報を利用す る者の範囲	この研究は大阪公立大学医学部附属病院消化器内科のみで行います。
試料・情報の管理に ついて責任を有する 者の研究機関の名称	公立大学法人大阪、大阪公立大学医学部附属病院
本研究の 利益相反	利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。  本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力を したくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学大学院医学研究科 消化器内科学 (担当者氏名) 平良 高一 電話番号：(06) 6645-3811 メールアドレス：koichit0802@gmail.com